

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ-

Aコース (為替ヘッジあり) Bコース (為替ヘッジなし)

運用報告書 (全体版) 第20期

(決算日 2022年5月30日)
(作成対象期間 2021年11月30日~2022年5月30日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式		
信託期間	無期限 (設定日: 2012年5月30日)		
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国厳選株マザーファンドの受益証券	
	ダイワ米国厳選株マザーファンド	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。)	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式に投資し、信託財産の成長をめざしております。当完成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

Aコース (為替ヘッジあり)

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末 (2020年5月28日)	11,444	0	△ 6.5	22,787	△ 3.7	94.8	—	964
17期末 (2020年11月30日)	13,502	1,000	26.7	27,306	19.8	94.7	—	1,075
18期末 (2021年5月28日)	15,095	1,600	23.6	31,528	15.5	91.6	—	1,148
19期末 (2021年11月29日)	14,122	600	△ 2.5	34,483	9.4	88.4	—	1,060
20期末 (2022年5月30日)	12,495	0	△ 11.5	31,208	△ 9.5	97.6	—	893

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数 (米ドルベース) は、S & P 500指数 (米ドルベース) の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

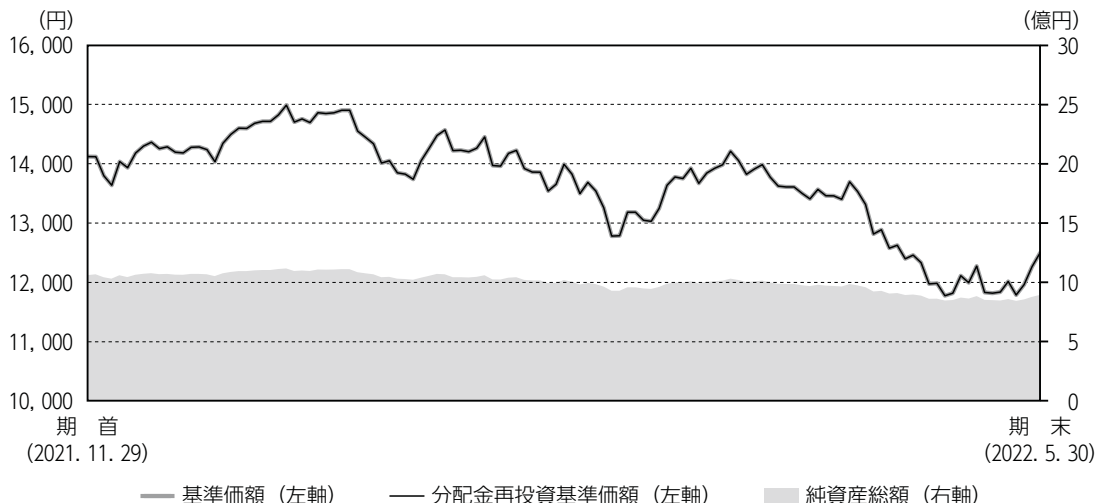
(注5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 株式先物比率は買建比率 - 売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：14,122円

期末：12,495円（分配金0円）

騰落率：△11.5%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

保有株式が軟調に推移したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2021年11月29日	円	%		%	%	%
	14,122	—	34,483	—	88.4	—
11月末	14,121	△ 0.0	34,938	1.3	89.1	—
12月末	14,717	4.2	35,973	4.3	95.0	—
2022年1月末	14,052	△ 0.5	33,262	△ 3.5	96.0	—
2月末	13,993	△ 0.9	32,907	△ 4.6	95.7	—
3月末	14,056	△ 0.5	34,542	0.2	91.6	—
4月末	12,626	△ 10.6	31,401	△ 8.9	94.7	—
(期 末) 2022年5月30日	12,495	△ 11.5	31,208	△ 9.5	97.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 11. 30 ~ 2022. 5. 30)

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、2021年末にかけて上昇基調で推移しました。2022年に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、3月半ばにかけて株価は下落しました。その後は、F R Bの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり、米国株式市況は一時反発しました。当作成期末にかけては、インフレの動向をめぐる思惑が交錯する中、一進一退で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2021. 11. 30 ~ 2022. 5. 30)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために、為替ヘッジを行いました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

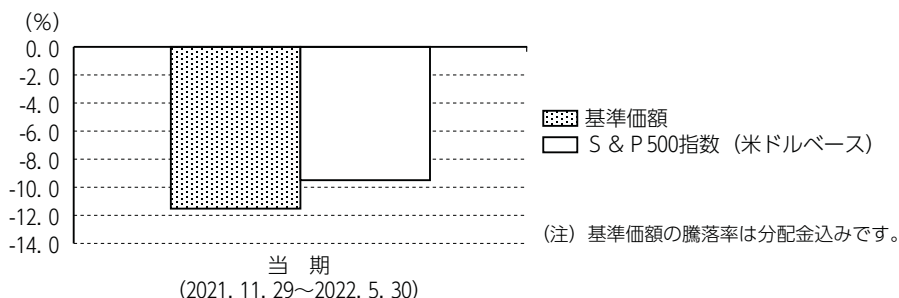
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳 (1万口当り)

項 目	当期	
	2021年11月30日 ～2022年5月30日	
当期分配金 (税込み) (円)		—
対基準価額比率 (%)		—
当期の収益 (円)		—
当期の収益以外 (円)		—
翌期繰越分配対象額 (円)		4,225

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
 (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。
 (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産について、為替変動リスクの低減のために為替ヘッジを行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 11. 30~2022. 5. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	130円	0. 949%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13, 675円です。
(投 信 会 社)	(74)	(0. 537)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0. 384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 022	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 022)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 017	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	135	0. 988	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

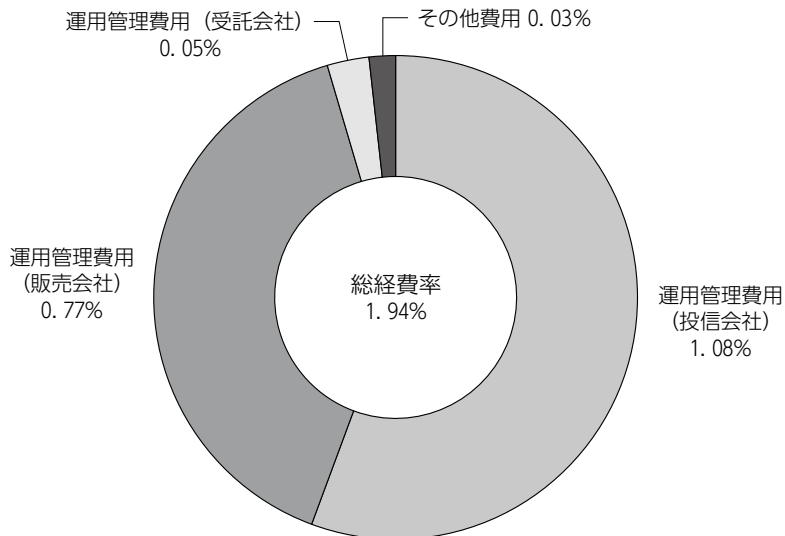
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Aコース (為替ヘッジあり)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	17,836	104,000	42,314	246,440

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,772,906千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,460,189千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株マザーファンド	185,610	161,133	889,505

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年5月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	889,505	98.4
コール・ローン等、その他	14,902	1.6
投資信託財産総額	904,407	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=127.02円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,352,453千円)の投資信託財産総額(4,501,156千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年5月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,766,615,525円
コール・ローン等	4,862,021
ダイワ米国厳選株マザーファンド(評価額)	889,505,320
未収入金	872,248,184
(B) 負債	872,888,395
未払金	863,341,294
未払信託報酬	9,519,682
その他未払費用	27,419
(C) 純資産総額(A-B)	893,727,130
元本	715,287,760
次期繰越損益金	178,439,370
(D) 受益権総口数	715,287,760口
1万口当り基準価額(C/D)	12,495円

* 期首における元本額は750,647,318円、当作成期間中における追加設定元本額は8,585,779円、同解約元本額は43,945,337円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,495円です。

■損益の状況

当期 自2021年11月30日 至2022年5月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 637円
受取利息	25
支払利息	△ 662
(B) 有価証券売買損益	△ 106,504,339
売買益	33,092,691
売買損	△ 139,597,030
(C) 信託報酬等	△ 9,577,638
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 116,082,614
(E) 前期繰越損益金	204,079,357
(F) 追加信託差損益金	90,442,627
(配当等相当額)	(71,856,743)
(売買損益相当額)	(18,585,884)
(G) 合計(D+E+F)	178,439,370
次期繰越損益金(G)	178,439,370
追加信託差損益金	90,442,627
(配当等相当額)	(71,856,743)
(売買損益相当額)	(18,585,884)
分配準備積立金	230,404,167
繰越損益金	△ 142,407,424

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:2,914,839円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	71,856,743
(d) 分配準備積立金	230,404,167
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	302,260,910
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	302,260,910
(h) 受益権総口数	715,287,760□

Bコース (為替ヘッジなし)

最近 5 期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
16期末 (2020年 5 月28日)	11,828	0	△ 8.4	30,929	△ 5.0	94.9	—	2,373
17期末 (2020年11月30日)	13,753	650	21.8	35,679	15.4	95.9	—	2,654
18期末 (2021年 5 月28日)	16,305	1,700	30.9	43,607	22.2	90.5	—	3,168
19期末 (2021年11月29日)	15,169	1,300	1.0	49,342	13.2	88.0	—	2,912
20期末 (2022年 5 月30日)	15,002	0	△ 1.1	49,856	1.0	97.6	—	2,876

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注 3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注 4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

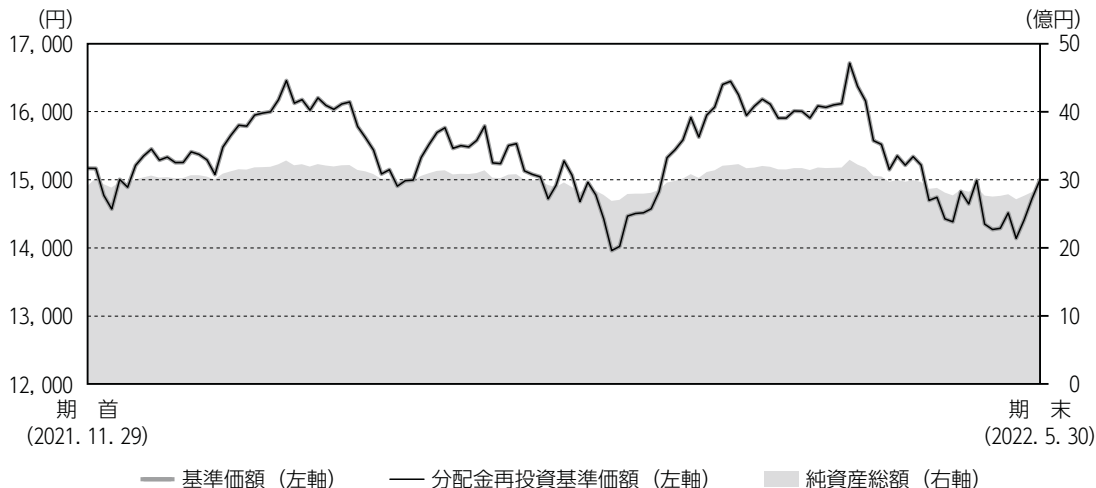
(注 5) 株式および株式先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注 6) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：15,169円

期末：15,002円（分配金0円）

騰落率：△1.1%（分配金込み）

基準価額の変動要因

為替相場において円安米ドル高で推移したことなどはプラス要因となったものの、保有株式が軟調に推移したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組 入 率 株 比	株 式 先 物 率 株 比
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期 首) 2021年11月29日	円	%		%	%	%
	15,169	—	49,342	—	88.0	—
11月末	15,168	△ 0.0	49,993	1.3	86.3	—
12月末	16,000	5.5	52,038	5.5	94.5	—
2022年1月末	15,330	1.1	48,292	△ 2.1	94.8	—
2月末	15,278	0.7	47,824	△ 3.1	95.0	—
3月末	16,250	7.1	53,171	7.8	95.2	—
4月末	15,351	1.2	50,891	3.1	94.6	—
(期 末) 2022年5月30日	15,002	△ 1.1	49,856	1.0	97.6	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2021. 11. 30 ~ 2022. 5. 30)

■ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、2021年末にかけて上昇基調で推移しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、3月半ばにかけて株価は下落しました。その後は、F R Bの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり、米国株式市況は一時反発しました。当作成期末にかけては、インフレの動向をめぐる思惑が交錯する中、一進一退で推移しました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて上昇しました。2022年に入ってから、レンジ内での推移が続いた後、3月にF R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、円安米ドル高が大きく進行しました。4月以降も、米国金利が上昇したことなどから、さらに米ドルは上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■ 当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

■ ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調

整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ポートフォリオについて

(2021. 11. 30 ~ 2022. 5. 30)

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券に投資しました。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。

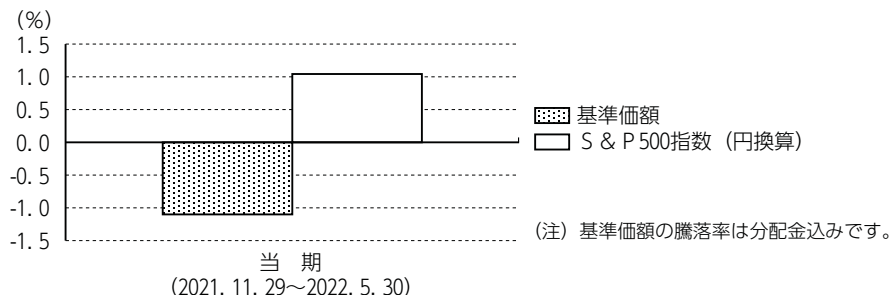
当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品)などを高位で組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2021年11月30日 ～2022年5月30日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,001

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

「ダイワ米国厳選株マザーファンド」の受益証券を通じて、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより、信託財産の成長をめざして運用を行います。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 11. 30～2022. 5. 30)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	146円	0. 949%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は15, 384円です。
(投 信 会 社)	(83)	(0. 537)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(59)	(0. 384)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0. 023	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(3)	(0. 023)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	2	0. 014	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	152	0. 986	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

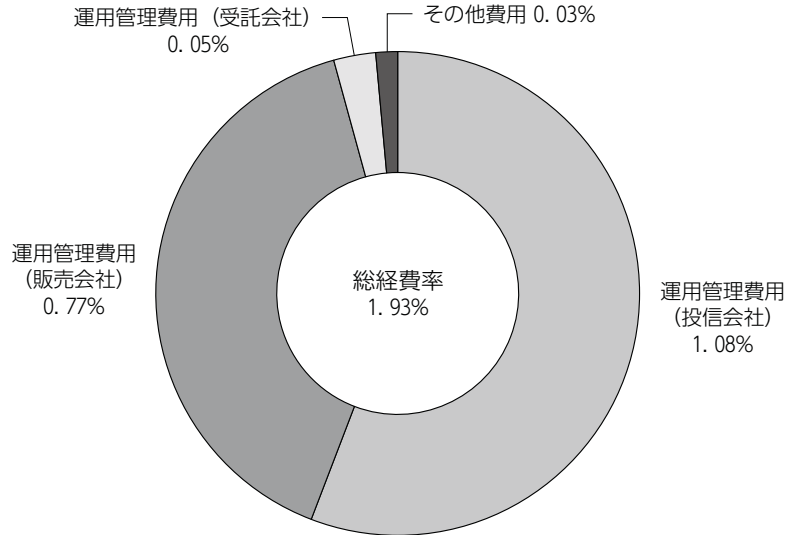
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイ- Bコース (為替ヘッジなし)

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	65,396	366,000	54,780	301,000

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

項 目	当 期
	ダイワ米国厳選株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,772,906千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	4,460,189千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.62

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国厳選株 マザーファンド	507,961	518,577	2,862,702

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年5月30日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国厳選株マザーファンド	2,862,702	98.3
コール・ローン等、その他	48,405	1.7
投資信託財産総額	2,911,108	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=127.02円です。

(注3) ダイワ米国厳選株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(4,352,453千円)の投資信託財産総額(4,501,156千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年5月30日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,911,108,376円
コール・ローン等	15,405,704
ダイワ米国厳選株 マザーファンド(評価額)	2,862,702,672
未収入金	33,000,000
(B) 負債	34,854,033
未払解約金	6,004,106
未払信託報酬	28,766,879
その他未払費用	83,048
(C) 純資産総額(A-B)	2,876,254,343
元本	1,917,291,524
次期繰越損益金	958,962,819
(D) 受益権総口数	1,917,291,524口
1万口当り基準価額(C/D)	15,002円

* 期首における元本額は1,920,218,899円、当作成期間中における追加設定元本額は272,340,204円、同解約元本額は275,267,579円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は15,002円です。

■損益の状況

当 期 自2021年11月30日 至2022年5月30日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 2,290円
受取利息	269
支払利息	△ 2,559
(B) 有価証券売買損益	△ 9,494,635
売買益	11,510,565
売買損	△ 21,005,200
(C) 信託報酬等	△ 28,849,927
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 38,346,852
(E) 前期繰越損益金	440,178,241
(F) 追加信託差損益金	557,131,430
(配当等相当額)	(460,212,239)
(売買損益相当額)	(96,919,191)
(G) 合計(D+E+F)	958,962,819
次期繰越損益金(G)	958,962,819
追加信託差損益金	557,131,430
(配当等相当額)	(460,212,239)
(売買損益相当額)	(96,919,191)
分次準備積立金	440,178,241
繰越損益金	△ 38,346,852

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

(注4) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用:8,757,550円(未監査)

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	518,784,578
(d) 分配準備積立金	440,178,241
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	958,962,819
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	958,962,819
(h) 受益権総口数	1,917,291,524口

ダイワ米国厳選株マザーファンド

運用報告書 第20期 (決算日 2022年5月30日)

(作成対象期間 2021年11月30日～2022年5月30日)

ダイワ米国厳選株マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

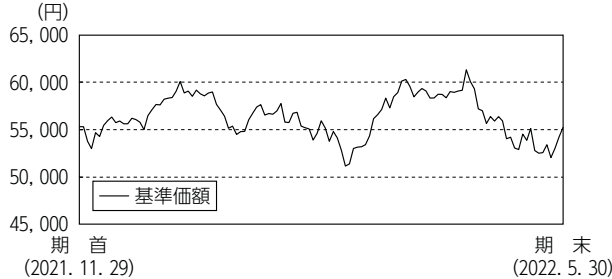
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みません。また、DR（預託証券）を含みます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式組入 比率	株式先物 比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2021年11月29日	55,292	—	49,342	—	91.3	—
11月末	55,293	0.0	49,993	1.3	92.7	—
12月末	58,387	5.6	52,038	5.5	94.8	—
2022年1月末	56,028	1.3	48,292	△ 2.1	94.9	—
2月末	55,920	1.1	47,824	△ 3.1	95.0	—
3月末	59,566	7.7	53,171	7.8	95.0	—
4月末	56,365	1.9	50,891	3.1	94.2	—
(期末) 2022年5月30日	55,203	△ 0.2	49,856	1.0	98.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：55,292円 期末：55,203円 騰落率：△0.2%

【基準価額の主な変動要因】

為替相場において円安米ドル高で推移したことなどはプラス要因となったものの、保有株式が軟調に推移したことなどから、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、2021年末にかけて上昇基調で推移しました。2022年に入ると、F R B (米国連邦準備制度理事会) による金融引き締

め懸念で金利が上昇したことや、ロシアによるウクライナ侵攻で資源価格が急騰したことなどが懸念され、3月半ばにかけて株価は下落しました。その後は、F R Bの利上げ決定で悪材料出尽くし観測が強まったことや、ロシアとウクライナによる停戦協議の進展期待もあり、米国株式市況は一時反発しました。当作成期末にかけては、インフレの動向をめぐる思惑が交錯する中、一進一退で推移しました。

○為替相場

米ドルは対円で上昇 (円安) しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首よりおおむねレンジ内での推移が続きましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて上昇しました。2022年に入ってから、レンジ内での推移が続いた後、3月にF R B (米国連邦準備制度理事会) が政策金利見通しを大幅に引き上げたのに対し、日銀は指値オペを行い長期金利上昇の抑制を図るなど、日米の金融政策の相違がより明確となって、円安米ドル高が大きく進行しました。4月以降も、米国金利が上昇したことなどから、さらに米ドルは上昇しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

◆ポートフォリオについて

当ファンドは、外貨建資産の運用にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託しております。当作成期の株式組入比率は、おおむね90%以上の高位を維持しました。

銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。セクター別では、コミュニケーション・サービスや金融を高位で組み入れました。銘柄別では、ALPHABET (コミュニケーション・サービス)、FISERV (情報技術)、KEURIG DR PEPPER (生活必需品) などを高位で組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

外貨建資産の運用にあたっては、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーに運用の指図にかかる権限を委託し、運用を行ってまいります。ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資していきます。引き続き、一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

ダイワ米国厳選株マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	13円 (13)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	6 (6)
合 計	19

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

国	株 式	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外国	アメリカ	830.29 (百株)	11,907 (千アメリカ・ドル)	2,805.58 (百株)	11,290 (千アメリカ・ドル)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2021年11月30日から2022年5月30日まで)

当 期				期			
買 付		付		売 付		付	
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
AMAZON.COM INC (アメリカ)	0.933 (千株)	328,037 (千円)	351,593 (円)	CDK GLOBAL INC (アメリカ)	50.375 (千株)	340,621 (千円)	6,761 (円)
WILLIS TOWERS WATSON PLC (アイルランド)	7.01	182,606	26,049	POST HOLDINGS INC (アメリカ)	11.84	146,657	12,386
BLACKROCK INC (アメリカ)	1.732	145,510	84,013	KEURIG DR PEPPER INC (アメリカ)	26.15	117,172	4,480
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A (アメリカ)	1.777	119,904	67,476	AUTOMATIC DATA PROCESSING (アメリカ)	4.26	113,495	26,642
KKR & CO INC (アメリカ)	18.346	116,748	6,363	COMCAST CORP-CLASS A (アメリカ)	15.415	87,637	5,685
MASTERCARD INC - A (アメリカ)	2.28	85,000	37,280	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.258	80,871	313,454
VISA INC-CLASS A SHARES (アメリカ)	3.675	83,811	22,805	HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN (アメリカ)	3.53	63,712	18,048
NETFLIX INC (アメリカ)	1.015	54,979	54,166	AMERICAN INTERNATIONAL GROUP (アメリカ)	7.875	57,059	7,245
WENDY'S CO/THE (アメリカ)	17.18	44,143	2,569	FISERV INC (アメリカ)	3.805	45,614	11,988
SCHWAB (CHARLES) CORP (アメリカ)	4.995	43,894	8,787	BANK OF AMERICA CORP (アメリカ)	7.56	41,196	5,449

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首 株 数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
					外貨建金額
(アメリカ)	百株	百株	千円		
CITIGROUP INC	174.45	168.1	901	114,489	金融
AUTOMATIC DATA PROCESSING	42.6	—	—	—	情報技術
CDK GLOBAL INC	463.1	—	—	—	情報技術
POST HOLDINGS INC	113.85	—	—	—	生活必需品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	85.2	53.35	758	96,395	一般職・サービス
WENDY'S CO/THE	552.15	692.15	1,305	165,811	一般職・サービス

銘 柄	期 首 株 数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
					外貨建金額
HCA HEALTHCARE INC	76.63	73.38	1,581	200,908	ヘルスケア
AMAZON.COM INC	—	8.73	2,010	255,368	一般職・サービス
FISERV INC	322.15	306.65	3,108	394,843	情報技術
ALPHABET INC-CL A	13.15	11.12	2,497	317,285	コミュニケーション・サービス
META PLATFORMS INC CLASS A	54.85	52.5	1,024	130,123	コミュニケーション・サービス
MANPOWERGROUP INC	122.25	125.5	1,104	140,280	資本財・サービス
KKR & CO INC	—	179.91	1,008	128,063	金融

銘柄	期首		当期末		業種等	
	株数	株数	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
	百株	百株	千円	千円		
LIVANOVA PLC	147.6	127.8	863	109,622	ヘルスケア	
BOOKING HOLDINGS INC	6.34	6.65	1,506	191,403	経理・サービス	
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	28.25	42.82	2,183	277,356	コミュニケーション	
CBRE GROUP INC - A	162.75	185.4	1,558	197,933	不動産	
GOHEALTH INC-CLASS A	1,289.9	—	—	—	金融	
WILLIS TOWERS WATSON PLC	—	67.5	1,450	184,200	金融	
VISA INC-CLASS A SHARES	—	33.8	719	91,395	情報技術	
NETFLIX INC	21.9	31.1	607	77,106	コミュニケーション	
MASTERCARD INC - A	—	21	751	95,434	情報技術	
BANK OF AMERICA CORP	334.35	272.1	1,007	127,949	金融	
AMERICAN INTERNATIONAL GROUP	321.9	258.5	1,525	193,724	金融	
NOV INC	167.3	160.15	322	40,928	エネルギー	
KEURIG DR PEPPER INC	722.9	492.55	1,732	220,099	生活必需品	
SCHWAB (CHARLES) CORP	211.6	223.5	1,577	200,397	金融	
BLACKROCK INC	—	17.32	1,154	146,635	金融	
LEAR CORP	81.85	78.35	1,069	135,904	経理・サービス	
COMCAST CORP-CLASS A	148.2	—	—	—	コミュニケーション	
ファンド	株数、金額	5,665.22	3,689.93	33,330	4,233,662	
合計	銘柄数<比率>	24銘柄	25銘柄		<98.0%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年5月30日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	4,233,662	94.1
コール・ローン等、その他	267,493	5.9
投資信託財産総額	4,501,156	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、5月30日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=127.02円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(4,352,453千円)の投資信託財産総額(4,501,156千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年5月30日現在

項目	当期末
(A) 資産	4,577,365,507円
コール・ローン等	161,252,284
株式(評価額)	4,233,662,622
未収入金	181,885,930
未収配当金	564,671
(B) 負債	258,720,280
未払金	221,720,280
未払解約金	37,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	4,318,645,227
元本	782,314,303
次期繰越損益金	3,536,330,924
(D) 受益権総口数	782,314,303口
1万口当り基準価額(C/D)	55,203円

* 期首における元本額は834,307,621円、当作成期間中における追加設定元本額は83,596,176円、同解約元本額は135,589,494円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Aコース (為替ヘッジあり)

161,133,511円

ダイワ米国厳選株ファンド - イーグルアイ Bコース (為替ヘッジなし)

518,577,373円

ダイワ米国厳選バリュース株ファンド (ダイワSMA専用)

102,603,419円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は55,203円です。

■損益の状況

当期 自2021年11月30日 至2022年5月30日

項目	当期
(A) 配当等収益	18,859,364円
受取配当金	18,752,252
その他収益金	116,314
支払利息	△ 9,202
(B) 有価証券売買損益	△ 18,259,877
売買益	751,983,569
売買損	△ 770,243,446
(C) その他費用	△ 535,454
(D) 当期損益金(A+B+C)	64,033
(E) 前期繰越損益金	3,778,713,573
(F) 解約差損益金	△ 630,850,506
(G) 追加信託差損益金	388,403,824
(H) 合計(D+E+F+G)	3,536,330,924
次期繰越損益金(H)	3,536,330,924

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。